

患者に化粧療法とおしゃれを試みた 介護職員の意識の変化

静岡県 医療法人社団 喜生会 新富士病院

○介護福祉士 後藤はるか MD 中島一彦

MD 川上正人 介護職員 菅野友和

目的

- 介護職員にどのような心境の変化があるのか
- より患者の心に寄り添った介護をする事が出来るのか

意識調査アンケート

期間：H22年11月～H23年1月

対象：介護職員14名

実施回数：研究前、研究後の計2回

○自由記載

率直な意見や感想を自由に述べてもらう

○設問(5段階評価)

- ・介護に対しての設問(6項目)
- ・患者に対しての設問(7項目)
- ・化粧療法、おしゃれを取り入れることに対しての設問(3項目)

アンケート設問内容

＜介護への意識、介護に対する思いについて教えてください＞

- この仕事が好きですか
- この仕事をして良かったと思いますか
- 仕事は楽しいと思いますか
- 仕事に対してやりがいを感じられますか
- 仕事は大変だと思いますか
- この仕事をこの先も続けていきたいと思いますか

＜患者への意識、患者に対する思いについて教えてください＞

- 患者の入院前の生活に興味がありますか
- 自分から積極的にコミュニケーションを図ろうとしていますか
- 笑顔で接することを心掛けていますか
- 忙しい時でも自分の感情に流されず、患者のペースに合わせ、落ち着いて話ができていると思いますか
- また、落ち着いて行動が出来ていると思いますか
- 患者の表情を読み取れていると思いますか
- 患者の身だしなみを整えることを心掛けていますか

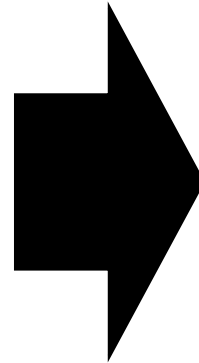
＜化粧・おしゃれを取り入れることに対する意識、思いについて教えてください＞

- 年をとっても「美しくありたい」「かっこよくありたい」と思いますか
- 年をとっても「おしゃれ」「化粧」をしたいと思いますか
- 今後も「おしゃれ」「化粧」への取り組みを行いたいと思いますか

自由記載の結果

開始前

- 患者の変化に期待し、この取り組みに興味を持っている
- 介護職員の前向きな姿勢が伺える



開始後

- 患者の効果を実感でき、やりがいがあった
- 感謝の声を頂けたことから、満足感が得られた
- 自分を見つめ直し、患者との接し方について再確認する良い機会になった

考察

○一部の整容介助を楽しみながら行えた

○患者の中にある「身だしなみを整えたい」という、ニーズに気付けた



患者の身だしなみを整える事に対する介護職員の意識が高まった

○この取り組みへの努力が、患者の効果として現れ、それを実感できた



仕事の意欲へ繋がった

まとめ

- 仕事や患者に対する意識が高まり、心理的に良い影響を与えることができた
- 一人一人が、真剣に患者の気持ちを考え行動ができ、患者との関わり方について学べた
- より患者の心に寄り添った介護に近付いた

今後の課題

一人一人の患者に十分に時間をかけることが
難しかったため、ゆとりが持てるような業務改善
を検討していくことが必要！！

参考引用文献・先行研究

- 矢野実千代 高齢者のコスメティックセラピー <一橋出版> (2003)
- 新富士病院 服部剛之 おしゃれが及ぼす日常生活への変化
～美しく老いていくために～ (2010)
- 北村光子他 介護福祉士の就労意欲に関する研究
～佐世保市およびその近隣地域の介護福祉士～ (2003)
- 荳村明彦 新・介護福祉士養成講座14 ころとからだのしくみ
中央法規出版 P60 (2009)